学校番号	T3005

平成31年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新編国語総合　改訂版　（大修館）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・スクーリングにはすべて出席し、授業中は集中して取り組むこと
・日々のレポートは必ずすべて完成させ、各考査ごとに提出すること
・1年次で学んだ言葉を活かし、表現することや、適切に話を理解する方法を学ぶ授業である

2　学習の到達目標

・文章を的確に理解する能力を高めるとともに、自ら考える力を付け、思考力・表現力を伸ばす
・言語や文化に対する関心を深め、言語感覚を磨き、伝統的な言語文化への興味を深め、国語を尊重してその向上をはかろうとする

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めると共に、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとする	目的や場に応じた効果的な話し方を工夫し、伝わりやすく表現するとともに、他者の表現を元にして自分の考えを深めている	相手や目的に応じて、より多様な表現を用いて的確な文章を書き、自分の考えを適切にまとめ、表現している	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている	言葉の特徴や決まり、それぞれの役割を適切に理解すると同時に、伝統的な言語文化への理解を深めている
評価方法	出席状況 授業態度 グループワーク 記述の確認 （レポート）	授業態度 グループワーク 行動の観察	記述の確認 （レポート）（意見文） 定期考査 手紙	記述の確認 （レポート）（意見文） 定期考査	記述の確認 （レポート） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4 5	詩を読む	教材： 「はる」 「一つのメルヘン」	○	○				a：音読に積極的に取り組み、詩のリズム感を味わいながら読もうとしている a：声の大きさ、抑揚など、伝わりやすい表現を工夫しようとしている b：他者に伝わりやすい表現を工夫し、音読をしている	a：出席状況、授業態度 グループワーク b：授業態度、グループワーク 行動の観察
6 7	意見を主張する	教材： 「何のために「働く」のか」	○		○	○		a：自分の意見を明確にし、適切な言葉で主張しようとしている c：テーマに対する自分の意見を、明確に、順序立てて主張することができる d：自分の意見を述べるために、筆者の主張を正しく理解することができる	a：出席状況、授業態度 記述の確認（レポート） c：記述の確認 （レポート）（意見文） 定期考査 d：記述の確認 （レポート）（意見文） 定期考査
9 10	古文を学ぶ	教材： 「伊勢物語」	○			○	○	a：作者の考えに触れ、当時の生活や文化に興味を持とうとする d：物語の中の人々の思いを理解すると共に、作中における和歌の効果を理解している e：古語、文法などを正しく理解し、章段を読むことができる	a：出席状況、授業態度 記述の確認（レポート） d：記述の確認（レポート） 定期考査 e、記述の確認（レポート） 定期考査
11 12	漢文を学ぶ	教材： 「春暁」 「送元二使安西」	○			○	○	a：音読に積極的に取り組み、詩のリズムを味わいながら読もうとしている d：唐詩のルールや形式を理解している e：漢文訓読の方法を身につけ、文章を正しく読むことができる	a：出席状況、授業態度 d：記述の確認（レポート） 定期考査 e：記述の確認（レポート） 定期考査
1 2 3	手紙を書く	教材： 「意見文を書く」 「通知文を書く」	○		○		○	a：創意工夫をこらした意見を書き、自らの考えを表現しようとしている c：意見文としての形式を踏まえた上で自分なりの工夫を凝らし、伝わりやすい文章を書くことができる e：通知文を書く際のルールを理解し、正しい形式で書くことができる	a：出席状況、授業態度 c：記述の確認（レポート） 手紙 e：記述の確認（レポート） 定期考査

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す能力・聞く能力
c：書く能力　d：読む能力
e：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている